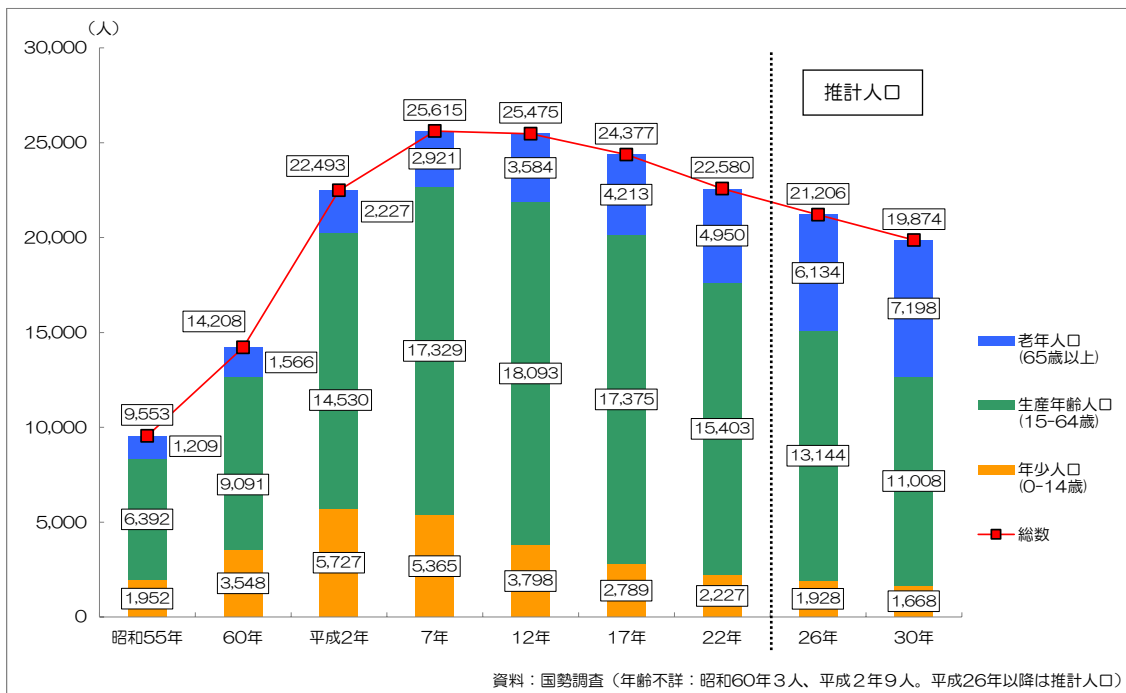


## 4 人口フレーム

国勢調査の結果をみると、本町の人口は、平成7年のピーク時には25,615人となりましたが、その後人口は減少に転じ、平成22年には22,580人となっています。このまま自然推移した場合、本基本構想の目標年次である平成30年における推計人口は19,874人と予測され、平成23年からの8年間で約2,700人減少することが想定されます。

■ 推計人口



しかしながら、町の元気を維持していくためには、現在の定住人口を維持することが不可欠です。そこで、かつて人口3万人を想定して整備された本町のインフラを強みとして、これを維持していくとともに、若者の定住を図っていくため、既成市街地において次世代を担う若年・子育て世代が住みやすい住宅や、多世代の同居・近隣居住などができる住環境を整備していくとともに、子どもを産み育てやすい環境の整備や産業振興による雇用の確保などを進めます。さらに、町民一人ひとりが、身体も心も健康で、生涯にわたって安全に、安心して健やかに暮らすことができるまちづくりを推進します。

以上を踏まえ、本基本構想の目標年次である平成30年の目標人口を23,000人と定めます。

■ 目標人口

